

令状審査の理論と実務



著者	:	東京簡易裁判所判事 三好一幸
定価	:	本体 2,500 円＋税
判型	:	B5 判
ページ数	:	184 ページ(本文 152 ページ)
ISBN	:	978-4-906929-28-3
発行	:	平成 26 年 4 月

内容

捜査の密行性が求められる令状事務手続には、迅速さが要求される反面、個人の権利侵害に直結するため適正かつ厳格な審査要件が課されています。

急速な情報化社会が進む中、情報処理の高度化等に対応するために、平成23年に刑事訴訟法が改正され、新たな電磁的記録の証拠収集方法として、記録命令付差押え、リモートアクセスによる複写の処分等が整備され、平成24年6月から施行されています。また、最近では、国税局、税関、証券取引等監視委員会、公正取引委員会等の行政手続に基づく令状の割合も増加しており、適正手続の要件も複雑化してきています。

著者は、きわめて多様な事例に遭遇する東京簡易裁判所において、実際に令状発付の現場を担当する現職の簡易裁判所判事であり、本書は、その豊かな経験を活かし令状審査の理論と実務について、関連する判例等の根拠を示しながら解説した最新の実務書となっており、適正迅速な令状事務処理に少しでも役立つようにと思い、執筆されたものです。実際に職務を担当する裁判官、裁判所書記官等をはじめ対応官庁である警察、検察庁関係者や行政手続で令状実務に携わる関係官庁、また、刑事弁護等を担う弁護士等にとっても、貴重な参考書になっています。

目次

関連書籍

図書 No.132 [略式手続の理論と実務](#)

図書 No.136 [簡易裁判所における刑事公判の理論と実務](#)

目次

第1章 令状主義
 第1 任意捜査と強制捜査
 第2 法定手続の保障
 第3 令状主義
 第4 令状の請求権者
 第2章 通常逮捕状
 第1 通常逮捕
 第2 通常逮捕の要件
 第3 通常逮捕状の請求
 第4 通常逮捕状の発付
 第5 少年の逮捕
 第6 数通の逮捕状
 第7 再逮捕
 第8 別件逮捕
 第9 逮捕状請求の却下
 第10 逮捕状の執行
 第3章 緊急逮捕状
 第1 緊急逮捕の意義
 第2 緊急逮捕の要件
 第3 緊急逮捕の手続
 第4 緊急逮捕状の発付
 第5 緊急逮捕後の手続
 第4章 勾引状
 第1 勾引の意義
 第2 勾引の要件
 第3 勾引状の発付
 第4 勾引の効力
 第5 勾引状の執行
 第6 勾引された被告人に対する告知
 第5章 勾留状
 第1 勾留の意義
 第2 勾留の要件
 第3 勾留の請求
 第4 勾留状の発付
 第5 少年の勾留
 第6 勾留期間
 第7 勾留理由開示
 第8 保釈
 第9 勾留取消
 第10 勾留執行停止

第6章 鑑定留置状
 第1 鑑定留置の意義
 第2 鑑定留置の請求
 第3 鑑定留置の要件
 第4 鑑定留置の期間
 第5 鑑定留置状の発付
 第7章 捜索差押許可状
 第1 捜索差押えの意義
 第2 捜索差押許可状の請求
 第3 第三者に対する捜索差押え
 第4 自動車に対する捜索差押え
 第5 捜索差押えの許容範囲
 第6 捜索差押えと必要な処分
 第7 強制採尿
 第8 強制採血
 第9 毛髪の強制採取
 第10 手や着衣から微物を採取する令状
 第11 コントールド・デリバリー
 第12 新たな電磁的記録の証拠収集方法
 1 記録命令付差押え
 2 リモートアクセスによる複写の処分
 第8章 検証許可状
 第1 検証
 第2 検証許可状の請求
 第3 検証許可状の発付
 第4 検証許可状の有効期間
 第5 夜間執行
 第6 携帯電話端末のGPS機能を用いた位置探索

第9章 身体検査令状
 第1 身体検査
 第2 身体検査令状の請求
 第3 身柄の拘束を受けている被疑者の身体検査
 第4 身体検査令状の発付
 第5 嚙下物の捜索差押え
 第10章 鑑定処分許可状
 第1 鑑定の意義
 第2 鑑定と強制処分
 第3 鑑定処分許可状の請求
 第4 死者を被疑者とする鑑定処分許可状
 第5 鑑定処分許可状の発付
 第11章 行政手続に基づく令状
 第1 国税犯則取締法に基づく令状
 第2 関税法に基づく令状
 第3 地方税法に基づく令状
 第4 金融商品取引法に基づく令状
 第5 独占禁止法に基づく令状
 第6 出入国管理法に基づく令状
 第7 児童虐待防止法に基づく令状
 第8 行政手続に基づく令状のまとめ
 第12章 引致状
 第1 引致状
 第2 引致状の請求
 第3 引致状の発付

書式例
 事項索引
 条文索引
 判例索引